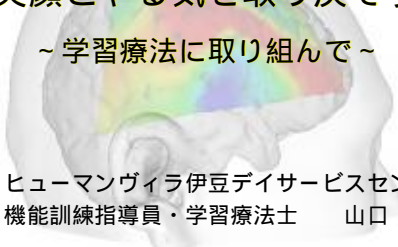


「脳のお手入れ」

笑顔とやる気を取り戻そう

～学習療法に取り組んで～



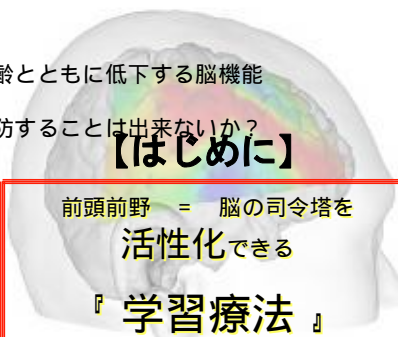
ヒューマンヴィラ伊豆デイサービスセンター
機能訓練指導員・学習療法士 山口 理恵

加齢とともに低下する脳機能
予防することは出来ないか？

【はじめに】

前頭前野 = 脳の司令塔を
活性化できる

『学習療法』



平成22年1月より導入

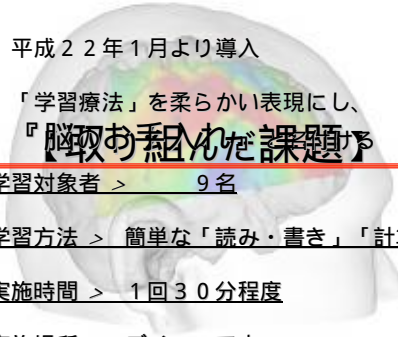
「学習療法」を柔らかな表現にし、
『脳のお手入れが課題』

<学習対象者> 9名

<学習方法> 簡単な「読み・書き」「計算」

<実施時間> 1回30分程度

<実施場所> デイフロア内



<実施状況> **【読み・書き】**

童謡や唱歌などの音読



歌詞のなぞり字



<実施状況> **【計算】**

月	日	点数
1	2	3
6	7	8
11	12	13
16	17	18
21	22	23
26	27	28
31	32	33
36	37	38
41	42	43
46	47	48

月	日	氏名
1	+	1=
3	+	3=
5	+	5=
7	+	7=
9	+	9=
11	+	11=
13	+	13=
15	+	15=
17	+	17=
19	+	19=
21	+	21=
23	+	23=
25	+	25=
27	+	27=
29	+	29=
31	+	31=
33	+	33=
35	+	35=
37	+	37=
39	+	39=
41	+	41=
43	+	43=
45	+	45=
47	+	47=
49	+	49=
50	+	50=

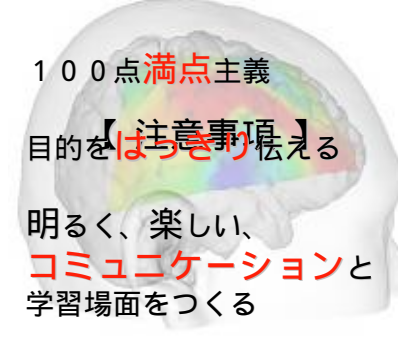
お手玉で計算



100点**満点主義**

【注意事項】
目的を**はっきり**伝える

明るく、楽しい、
コミュニケーションと
学習場面をつくる



学習対象者における日常生活評価スケール

【活動の成果と評価】

学習対象者における日常生活評価スケール

7大項目

- 1.感情表現
- 2.関心・意欲
- 3.コミュニケーション
- 4.身辺自立
- 5.自信・自尊心
- 6.社会的役割
- 7.生活の質

学習対象者における日常生活評価スケール

関心・意欲

毎日みられる
週に3回以上
週に1~2回
全くみられない

10 学習に集中し、学習中は気分が安定している。

11 学ぶことの楽しみや喜びがみられる。

12 自発的に学習に参加する。

・ 4段階評価
・ 採点表をもとにパーセンテージ化

評価項目	開始直後	開始から4ヶ月	比較値
1. 感情表現	8.0%	9.4%	+1.4%
2. 関心・意欲	2.8%	7.9%	+5.1%
3. コミュニケーション	5.9%	8.8%	+2.9%
4. 身辺自立	5.6%	6.9%	+1.3%
5. 自信・自尊心	2.3%	6.6%	+4.3%
6. 社会的役割	1.9%	4.1%	+2.2%
7. 生活の質	4.4%	7.4%	+3.0%

< Kさんの事例 >

Kさん 87歳 女性 介護度3

3年ほど前から膝痛が悪化

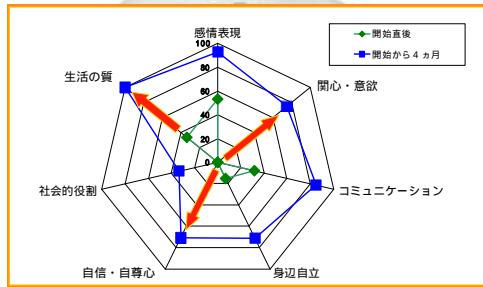
外出機会の減少 他者との交流目的で
デイサービス利用開始

笑顔も見られ意欲的だったが、3年ほど前から
傾眠 表情の欠乏 意欲・活動の低下
が見られた。

< Kさんの日常生活評価スケール >

評価項目	開始直後	開始から4ヶ月	比較値
1. 感情表現	5.3%	92.0%	+39.0%
2. 関心・意欲	0%	75%	+75%
3. コミュニケーション	31.0%	84.7%	+53.7%
4. 身辺自立	15.7%	71%	+56.7%
5. 自信・自尊心	0%	70.4%	+70.4%
6. 社会的役割	0%	33.3%	+33.3%
7. 生活の質	33.3%	100%	+66.7%

< Kさんの日常生活評価スケール >



< スケールでは表せないKさんの日常の変化 >

自ら鉛筆を持ち、集中して取り組むようになった。

表情が穏やかになり、笑顔が増え、自分から周囲の人に話しかけるようになった。

鏡を見て、自分の容姿を気にしたり、着る衣類にこだわりを持つようになった。

今では笑顔の絶えないKさん

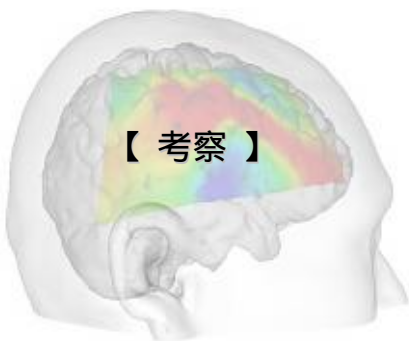


< 職員への聞き取り調査 >

- ・今までより利用者との関わりが増えた。
- ・どんな人にも何か出来ること、可能性があることを実感できた。
- ・個別ケアとは何かを見直すきっかけとなった。
- ・利用者の笑顔や意欲をみて、職員のモチベーションが上がった。

など

【 考察 】



日々、接している中で
利用者の変化を自分の目で実感できる

利用者、職員の意識の変化の現れこそが、
この取組みの成果であり
介護の質の向上につながっていく

- ・誰でも参加できる雰囲気作り、環境設定
- ・脳のお手入れの目的、方法を職員全員が共有する
- ・脳のお手入れや日常生活の様子を情報交換し
学習とケアの連携を図る

【今後の課題】

日常生活に活かす



ご清聴ありがとうございました。